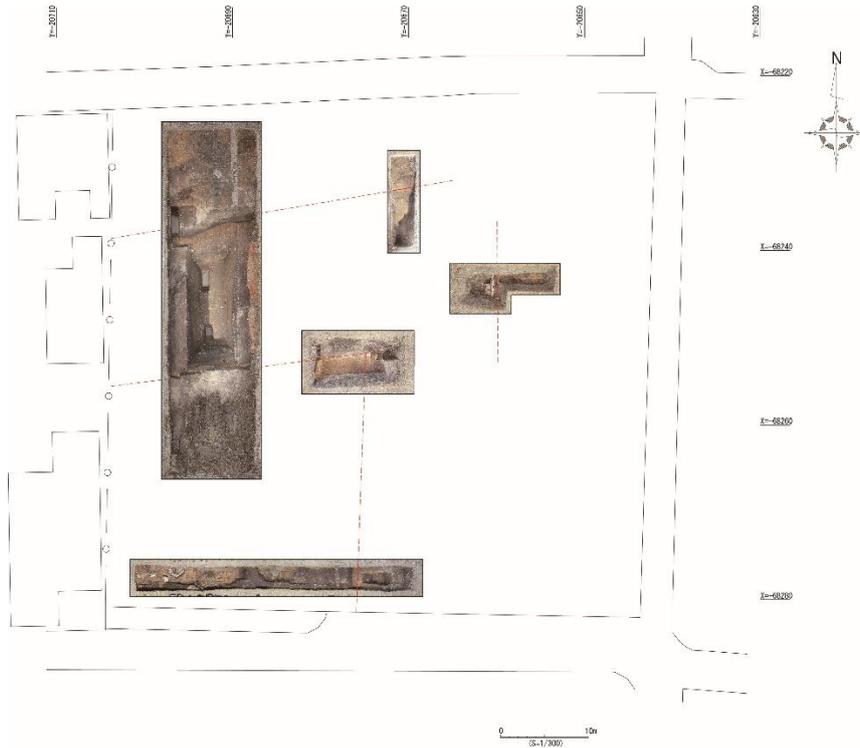
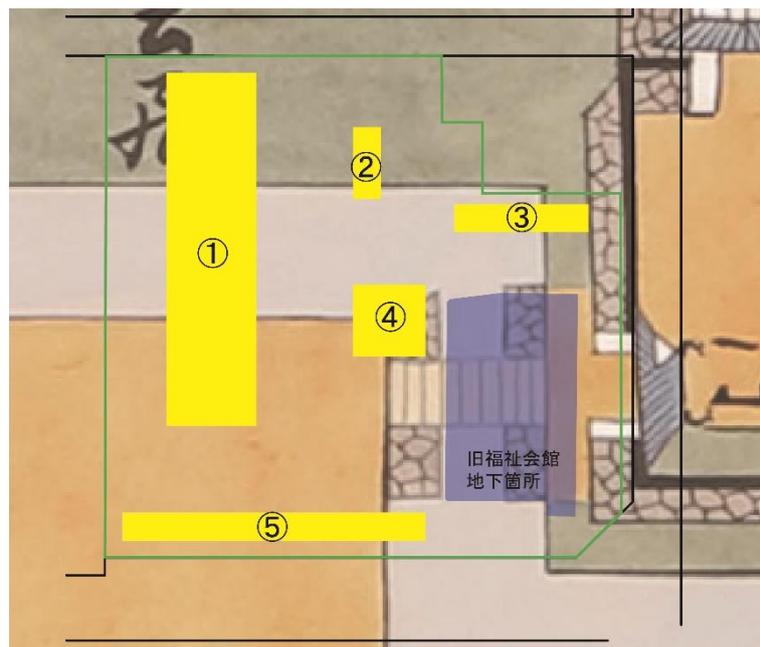


犬山城大手門枡形跡発掘調査結果まとめ

- ・犬山城の城内と城外を区画する外堀の一部が、地下に良好な状態で残されていることが判明しました。
- ・堀の幅は約 17.5m、深さは 6.5m 以上で絵図の記載とほぼ一致します。また、水のない空堀であることや、石垣のない素掘りであることが確認できました。
- ・堀の正確な位置や東西方向から南北方向に折れ曲がる場所が特定できました。
- ・絵図では、堀は東西方向、南北方向に平行に掘られており、大手口は正方形となっていますが、各調査区で確認した堀の端を結んだ結果、大手口東側は南北方向にまっすぐ進んでいますが、大手口北側はやや北側に振れていることが判明しました。



調査結果に基づく堀位置想定図



トレンチ位置図